

発行：学研北生駒駅北地区まちづくり協議会 運営委員会

このニュースは、学研北生駒駅北地区のまちづくりについて、内容をお知らせするものです。

第5回運営委員会を開催しました（令和4年2月4日 書面開催）

第5回運営委員会は、先進地まちづくり事例視察会の実施後、早期にこの視察会で感じたことを踏まえた検討を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、書面開催とし、委員への資料送付とアンケート形式での意見抽出により実施しました。

◆内 容

- ・先進地まちづくり視察会の振り返り
- ・視察会で感じたこと・学研北生駒駅北地区で活かしたいこと等の意見出し

先進地まちづくり事例視察会を開催しました

まちづくりのテーマやデザインの参考とするため、駅前の丘陵地という学研北生駒駅周辺と類似する地形でまちづくりが行われている先進地「和歌山大学前駅周辺地区」の視察会を実施しました。

【視 察 先】和歌山大学前駅周辺地区

【日 時】令和3年11月25日（木）10：00～18：30

【参 加 者】辻井委員長、吉岡副委員長、阪東副委員長、田村副委員長、
近鉄不動産㈱、奈良交通
生駒市（都市計画課、事業計画課）、昭和㈱

【視察概要】・車中より全体的な街並み（駅前・住宅地等）を視察
・視察地区全体を高台より視察
・現地視察（まち歩き） ※別添資料参照



和歌山大学前駅にて

【視察先の選定理由】丘陵地形、駅前立地、後背地に戸建て住宅地や大学が位置しているなど、当地区と類似しているため

【視察のポイント】まちのデザインや、敷地の高低差解消（バリアフリー化）・歩行者ネットワークなどに着目

➡意見整理については、次頁をご覧ください。

視察会で感じたこと、学研北生駒駅北地区で活かしたいこと（意見整理）

各項目の番号は、別添資料の写真番号です。

（１）まちのデザインについて		
のりめん 法面緑化	①	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の面積が増え、ゆとりある印象を受ける ・崩れにくい工夫や維持管理体制の確立が必要 ・必要以上の緑化は不要で、宅地として活用した方が良い
無電柱化	①	<ul style="list-style-type: none"> ・導入したいが、コスト面が懸念される ・周辺との調和を図りながら、メリハリをつけて導入することも検討
カラー擁壁、 デザイン塀	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・色などで統一感を出すことを積極的に取り入れたい ・コストや経年劣化、メンテナンスも考慮する必要がある
カラー舗装 (歩道)	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離が分かりやすくて良い ・メンテナンスが容易なものや浸水性があるものを導入したい
街灯、 通り銘板	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感があり、視認しやすいデザインが良い ・サビの出ない素材を導入したい ・銘板は、地域の人に呼んでもらえる通り名の命名が重要
街路樹	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのコンセプトにあった植栽の選定が必要 ・目隠し、風よけの機能を効果的に取り入れたい ・落ち葉の問題（維持管理体制確立）や安全性への考慮が必要
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・道路空間に一部ベンチ等を設置し、コミュニケーション空間としたい
（２）敷地の高低差解消（バリアフリー化）・歩行者ネットワークについて		
ウォークデッキ	④	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークデッキとエスカレーターの設置により、高低差をうまく解消できており、ぜひとも導入したい ・素材・コスト等に考慮し、できる範囲で導入し、土地建物もより有効活用したい
階段	④	<ul style="list-style-type: none"> ・斜め階段は、勾配が解消されてのぼりやすい。デザイン的にも良好 ・シンボルや広場の一部として取り入れたい
のりめん 法面スロープ	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・人が移動する際の抵抗感緩和や、自転車や新たなモビリティのルートとしての可能性もある ・カーブを取り入れ急なスロープを避けること、雨天時等の滑りやすさ解消のための手すり設置、所有者や管理体制の問題などに留意する必要がある
歩行者 ネットワーク	④ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・広い歩行者通路（法面含む）、街路樹、カラー舗装等の整備を組み合わせ、歩きやすく歩きたくなるまちを目指していきたい ・歩行者ネットワーク検討時には、建物も同時に検討する必要がある
（３）目指したいまちのデザインイメージについて（キーワード等）		
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然と次世代が調和した学研都市・北いこま ・周辺地区との調和を図る ・階段、段差を極力解消 (バリアフリーと新たなモビリティのアクセスルート確保) ・メンテナンスが容易な持続可能なまち ・住民主体でみんなが自分のためとまちをつかっていくイメージ 		

➡以上の意見を、まちのデザインやコンセプトに盛り込んでいきます。

自然 知 夢 がはばたく 北生駒

～過去から未来へ伸びゆくまち 地域に根を張りつなげるまち～

編集協力 生駒市都市整備部都市計画課

電話：0743-74-1111(内線 3312) / FAX：0743-74-9100 / E-mail：ikotoshi@city.ikoma.lg.jp